
つくば教会だより 2024年9月号

編集:カトリックつくば教会 〒305-0834 茨城県つくば市手代木 261-6
TEL 029-836-1723 FAX 029-836-4136

ホームページ <https://www.catholic-tsukuba.com/>

“主よ、困っている人を助けてください”

最近、私は病院に10ヶ月間入院していたある人を訪ねました。その人は、不法滞在の外国人労働者で墓石などを製作している石材会社で働いていましたが、会社の上司の起こしたフォークリフト事故で脚に大けがをしました。すぐ、上司の車で病院に運ばれ、救急手術を受けました。入院して数週間経ったとき、医師から脚を切断しなければならないと告げられました。彼は自分の命を救うために、恐ろしいことですが同意しなければなりません。最初のうちはお見舞いに来る人もいましたが、入院が長期になるといくら待っても彼の国の言葉で話しのできる人はやって来なくなりました。彼の上司でさえも忙しくて滅多に見舞いに来なくなりました。

先週、その人は牛久の出入国管理局の収容施設に収容されていました。彼は国に帰ることはできますが、そのための切符を買うお金がありません。これは悪循環です。帰国するにはお金が必要ですが、そのお金がありません。収容施設には、世界の各国から来たそんな境遇の人が沢山います。誰かが助けに来てくれるように毎日祈っていますが、誰も滅多に来てくれません。

この人たちどうして此処に収容されているのでしょうか。何故、日本に来たのでしょうか。何故、帰国しないのでしょうか。彼らには選択の余地がないのです。彼らは、自分の家族を守り、養い、教育するために貧困と絶望の中から日本にやって来たのです。彼らは自分の家族や故郷や国を愛するから来たのです。来たいから来たわけではありません。大多数の人々は一生懸命に働き、大きな犠牲を払って家族に送金をしています。茨城県内には、おそらく3万人の外国人労働者がおり、その少なくとも半分はカトリック信徒です。県内に登録されている日本人の信徒数は2,900人です。

沢山の人々が、労を惜しまず彼らに話しかけたり、日本語を教えたり、病院を訪問したり、通院の手助けをしたり、励ましたり、

時には慰めたり、いろいろな方法で移住者を助けています。この3年間、私はオープンハウス（浦和教区国際交流センター）で、彼らが困ったときに必要な援助をする仕事に携わってきました。このセンターの所長として、私は皆さんの霊的な、そして資金的な援助をお願いしたいと思います。

もし、あなたがボランティアとしてあなたの時間と能力を少しでも提供することができれば、いつでも私に伝えてください。

カトリックつくば教会担当司祭

ウィリアム・ドネガン



（この巻頭言は1997年9月教会だよりから引用したものです）

■信徒会より

◇ドネガン神父様のお誕生祝い

8月19日はドネガン神父様のお誕生日ですが、8月25日（日）主日ミサ後に誕生祝いを行うことができなくなり、8月4日（日）主日ミサ後にドネガン神父様の誕生祝いを兼ねたお茶会をザビエルホールで実施しました。

桑原会長の乾杯の音頭、ベトナム青年グループによるお祝いのエールなど和やかな雰囲気の中で神父様の誕生日を祝いました。その後、神父様と信徒の交り合いなど、楽しい時間を過ごすことができました。

◇共愛会(さいたま教区障がい者連絡協議会)のつくば教会来訪について

来る10月6日（日）10時30分からの日本語ミサに、共愛会のメンバーがつくば教会を来訪されます。

共愛会は、1997年以来、さいたま教区で、障害を持つ人と持たない人が何回も集まり、意見を持ち寄って、誕生した会です。共愛会という名称には、共に主の食卓に与り、共に神の国の建設に参加したいとの願いが込められています(さいたま教区HPによる)。

実は、共愛会からは、これまで何回も来訪を打診されましたが、教会行事との日程調整、感染症の流行などもありお断りしてきた経緯があります。当日の詳細なプログラムについては、これから、役員会と共愛会幹部の方とで、調整します。当日は、来訪者のための駐車場、聖堂内の座席確保などのために、皆さまのご協力をお願いします。また、ミサ後、分かち合いと食事会を開催する予定ですので、障がいをお持ちの方、お持ちでない方の参加をお待ちしています。詳細については、決定次第、掲示させていただきますので、よろしくお願いします。

◇敬老の祝福と敬老のお茶会

9月8日（日）日本語ミサの中で敬老の祝福があります。また、ミサ終了後にコロナ禍でしばらく実施していなかった“敬老のお茶会”をザビエルホールで行うことになりました。

コロナ禍のために、歓談する機会を奪われてきたお年を召された信徒から教会で集まれる機会ができればとの要望もあり、敬老のお茶会を行うことに致しました。信徒の皆様にも、お年を召された多くの信徒の方々にも声掛けを行っ

ていただき、有意義なお茶会になればと
考えています。

お茶会への勧誘、お茶会での信徒の皆様
のご協力をよろしくお願い致します。

■部会報告

◇マリア像建立献金の御礼

日本語部、国際部、双方の信徒の皆様
から多大なご協力を頂き、マリア像献金
額は8月18日現在、暫定総額 808,200
円となりました。当初予想(30万)の3
倍近い額です。皆様のご協力に心より感
謝し、御礼申し上げます。

(なお、日本語部は7月31日をもって
献金期限を終了しましたが、国際部は8
月31日まで1ヶ月期限を延期されまし
たので、最終総額が確定した段階でご報
告します。)

建立費用につきましては、今年度信徒
会予算から120万円予定して頂いており
ましたが、聖像、台座とも全額納品後の
支払いとなったため、来年度献金額で足
りない分だけ、信徒会費から支出して頂
くこととなります。

実際の建立工事は来年3月から天候を
見ながら始まります。よろしくお願い致
します。(マリア像建立実行委員会)

◇厳かに聖母被昇天ミサ

8月15日(木)19時から、聖母被昇
天の祭日ミサが日本語合同で行われま
した。

神父様は、聖母が天使のお告げを受け
てイエス様を宿され、エリザベトを訪問
して共に神を喜びたたえ、馬小屋での出
産、イエス様の宣教、そして十字架の下
でイエス様と苦しみを共にされ、やがて
天に上げられた聖母のご生涯に触れて
日本語と英語でお説教されました。

香炉を振り、十字架を高く掲げて、ご
聖堂の外から入堂し、6本の蠟燭きらめ
く祭壇で、ベトナム青年ら4人の侍者の
奉仕の下、荘厳な雰囲気の中に聖母の
歌を歌って閉祭となりました。

(典礼司牧部典礼総務 石澤)

◇神学生育成資金への献金のお願い

イエズス・マリアの聖心会は、フィリ
ピンの神学校で6名ほどの神学生を育成
していますが、授業料、生活費の多くは
寄付でまかなわれています。茨城県下の
教会では、神学生のために献金を集め、
家族の日(今年は11月4日開催)に、
神学生育成資金としてイエズス・マリア
の聖心会に贈呈しています。

つくば教会は、信徒会会計から一定額
の献金を行いますが、個々の信徒の皆様
からもお志をいただければと思います。
聖堂入り口に献金用封筒を置いており
ますので、10月6日(日)までに献金い
ただければ幸いです。

(茨城県使徒職協議会)

行事予定表 2024年9月

		ミサ・典礼		学校・会議・講座・勉強会	
日付	曜日	時刻	行事内容	時刻	行事内容
1	日	8:00 10:30	英語ミサ 日本語ミサ	ミサ後	教会清掃 (国際部)
6	金	10:00	日本語ミサ		
7	土	18:00	英語ミサ	10:00	キリスト教入門講座
8	日	8:00 10:30 15:00	英語ミサ 日本語ミサ 敬老の祝福 ベトナム語ミサ	ミサ後	敬老のお茶会
13	金	10:00	日本語ミサ		
14	土	18:00	英語ミサ	10:00	キリスト教入門講座
15	日	8:00 10:30 15:00	英語集会祭儀 日本語ミサ (レミ神父様) スペイン語ミサ (Misa en español)	ミサ後 9:20 11:30	教会清掃 (国際部) 青年会「聖書のみことば」 定例役員会
20	金	10:00	日本語ミサ		教会だより原稿締め切り
21	土	18:00	英語ミサ	10:00	キリスト教入門講座
22	日	8:00 10:30	英語ミサ 日本語ミサ	9:20 ミサ後	IWJC 教会清掃 (全員)
23	月				教会だより編集会議
27	金	10:00	日本語ミサ		
28	土	18:00	英語ミサ	10:00	キリスト教入門講座
29	日	8:00 10:30	英語集会祭儀 日本語集会祭儀 世界難民移住移動者の日	ミサ後	教会清掃 (全員)

・10月の予定

- 10/6 (日) 共愛会交流会
- 10/13 (日) 山野内司教様司式ミサ 堅信式
- 10/14 (月・祝) 下館教会・新聖堂献堂式
- 10/27 (日) 集会祭儀
- 10/27 (日) 15:00 ベトナム語ミサ